



麻疹(はしか)の感染が増えています

日本国内で麻疹(はしか)の患者数が急増しており、自治体などが注意を呼び掛けています。

<症状・治療法>

発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いたあと39度以上の高熱と発しんが出現します。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、1000人に1人程度の割合で脳炎が発症します。死亡する割合も先進国であっても1000人に1人といわれています。

<感染経路>

感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染でヒトからヒトへ感染し、その**感染力は非常に強い**といわれています。

周囲への感染可能期間は、発症日の1日前から解熱後3日間を経過するまでの期間で、発症前から感染力があります。**インフルエンザの約10倍の感染力**があり、1人で12～18人の免疫のない方々に感染させます。

<予防法>

特効薬はなく、基本的に発熱に対する解熱剤など症状に応じた治療を行います。手洗いやマスクだけでは麻疹を予防することはできません。**最も有効な予防法は麻疹含有ワクチンの接種**です。

ワクチン1回接種で約93～95%、2回接種で97～99%の予防効果があります。

ワクチンの接種歴を確認いただき、2回接種の確認ができない方や過去に麻疹にかかった確実な記憶のない方は、抗体検査で免疫を確認するか、かかりつけ医に相談の上ワクチンの追加接種を積極的に検討してください。



<参考文献> 厚生労働省ホームページ
国立感染症研究所ホームページ
一般社団法人 日本感染症学会ホームページ